

高温、渇水に係る情報連絡会議

【日 時】令和8年7月24日(金)午後4時25分～

【場 所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）

**【参加者】知事、政策統轄監※、危機管理部、福祉保健部、
農林水産部、県土整備部、企業局、鳥取地方気象台、
日野川河川事務所※、倉吉河川国道事務所※（※リモート参加）**

（配信）鳥取河川国道事務所、各総合事務所、市町村、消防局、陸上自衛隊

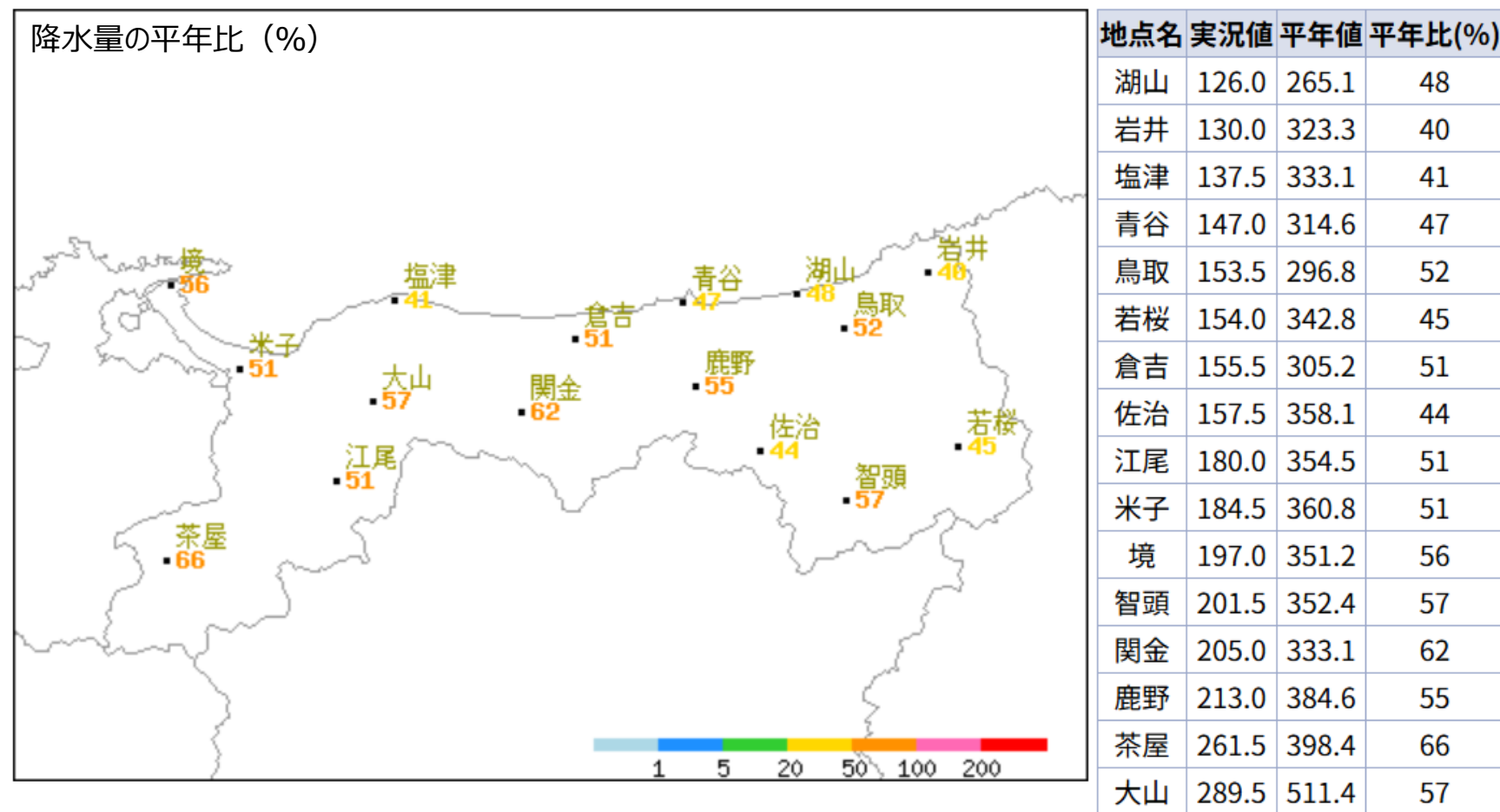
【次 第】

（１）気象状況と今後の見込み

（２）高温、渇水等の影響の状況と今後の対応

梅雨入りの6月4日（速報値）～7月23日 鳥取県内のアメダス観測所の降水量・平年比

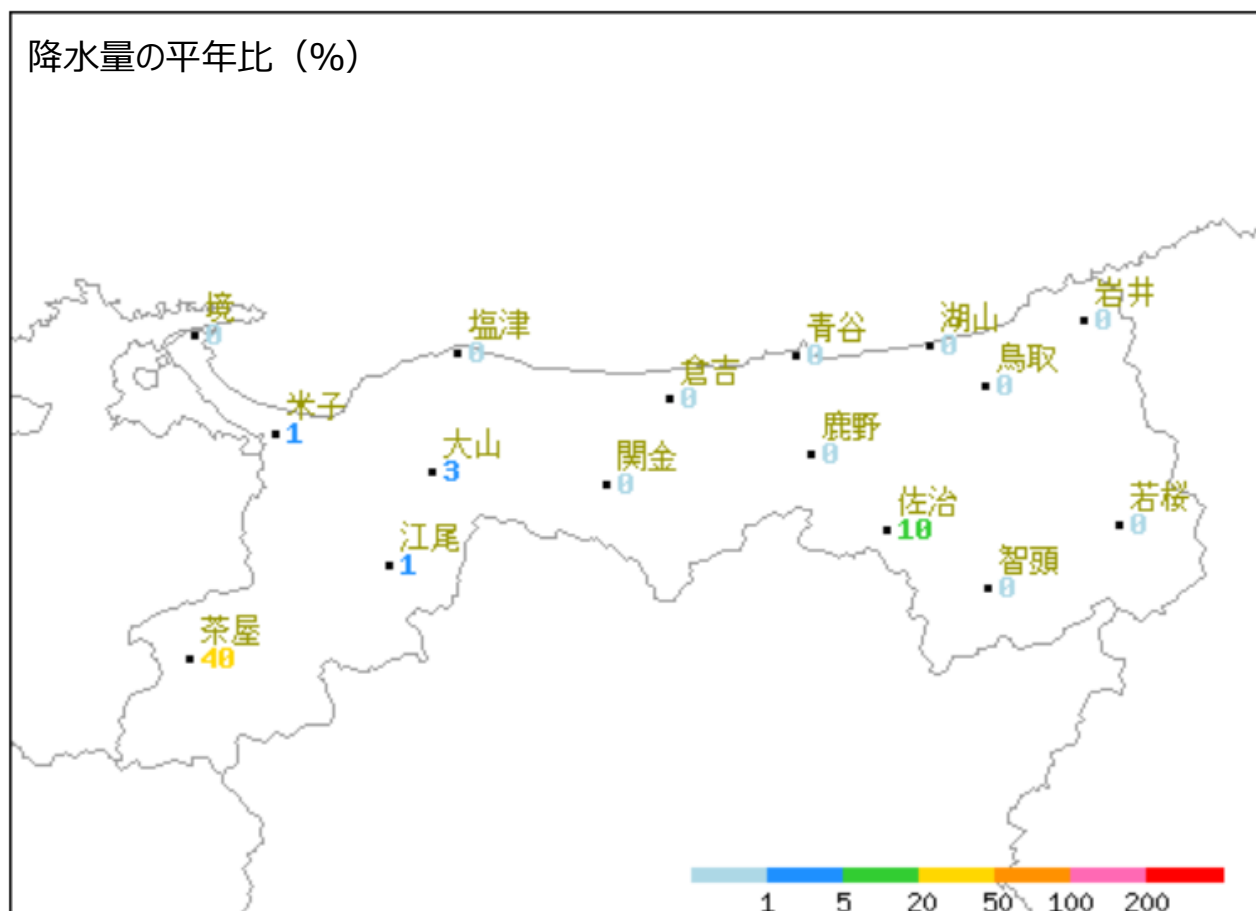
梅雨入り（6月4日：速報値）～昨日（7月23日）までの降水量。県内各アメダス地点の降水量は、平年と比べると50%前後で、最も少ない観測所は岩井で平年比40%



梅雨明け後の 7月8日（速報値）～7月23日までの降水量・平年比

7月8日の梅雨明け（速報値）以降、23日までの降水量は、16のアメダス観測所の内、11観測所で1ミリ以上の降水を観測していない。

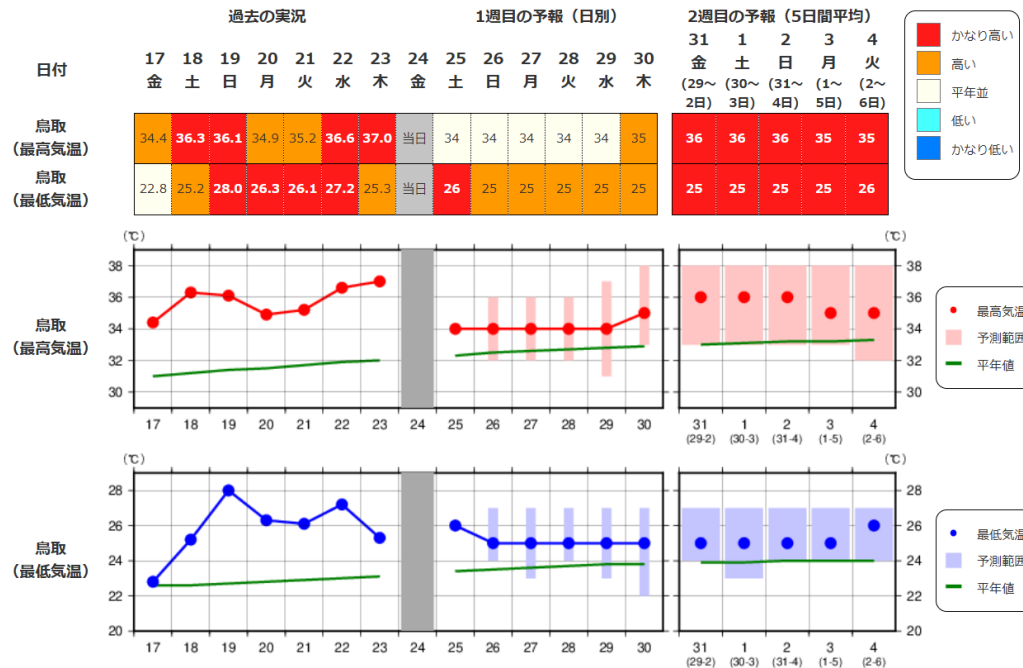
降水量の平年比（％）



地点名	実況値	平年値	平年比(%)
塩津	0.0	117.7	0
青谷	0.0	107.0	0
湖山	0.0	85.8	0
岩井	0.0	113.0	0
倉吉	0.0	109.3	0
鳥取	0.0	104.8	0
関金	0.0	117.7	0
若桜	0.0	123.4	0
智頭	0.0	121.8	0
境	0.5	123.1	0
鹿野	0.5	130.1	0
米子	1.0	128.4	1
江尾	1.0	132.6	1
大山	6.0	185.4	3
佐治	12.0	123.8	10
茶屋	55.0	137.0	40

7月17日からの気温の実況と2週間気温予報

梅雨明けから本日（24日）までの気温は、最高気温、最低気温共に平年よりかなり高い状態が続いている。本日11時発表の2週間気温予報では、1週目の予報は、最高気温は平年並みの予想であるが、2週目の予報では平年よりかなり高くなる予想となっている。



鳥取県の天気予報（7日先まで）							
2026年07月24日11時 鳥取地方気象台 発表							
日付	今日 24日(金)	明日 25日(土)	明後日 26日(日)	27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)
鳥取県	晴	晴時々曇	曇時々晴	曇時々晴	曇	曇時々晴	晴時々曇
降水確率(%)	-/10/10	10/0/20/10	30	30	40	30	20
信頼度	-	-	-	B	B	A	A
鳥取 気温 (℃)	最高	36	34	33 (31~36)	35 (33~36)	35 (33~37)	35 (33~37)
	最低	-	26	25 (23~26)	24 (23~26)	25 (24~27)	26 (23~28)
向こう一週間（明日から7日先まで）の平年値							
降水量の7日間合計				最低気温		最高気温	
平年並 3 - 25mm				23.7℃		32.7℃	

本日発表の週間予報では、今後1週間
まとまった雨の降る予想はない。

7月23日発表の1か月予報

中国地方（山口県を除く） 1か月予報（07/25～08/24）		
2026年07月23日14時30分 広島地方気象台 発表		
特に注意を要する事項		期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。
向こう1か月 07/25～08/24	天候	平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率70%です。
	日照時間	日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。
1週目 07/25～07/31	気温	1週目は、高い確率70%です。
2週目 08/01～08/07	気温	2週目は、高い確率80%です。
3～4週目 08/08～08/21	気温	3～4週目は、高い確率50%です。

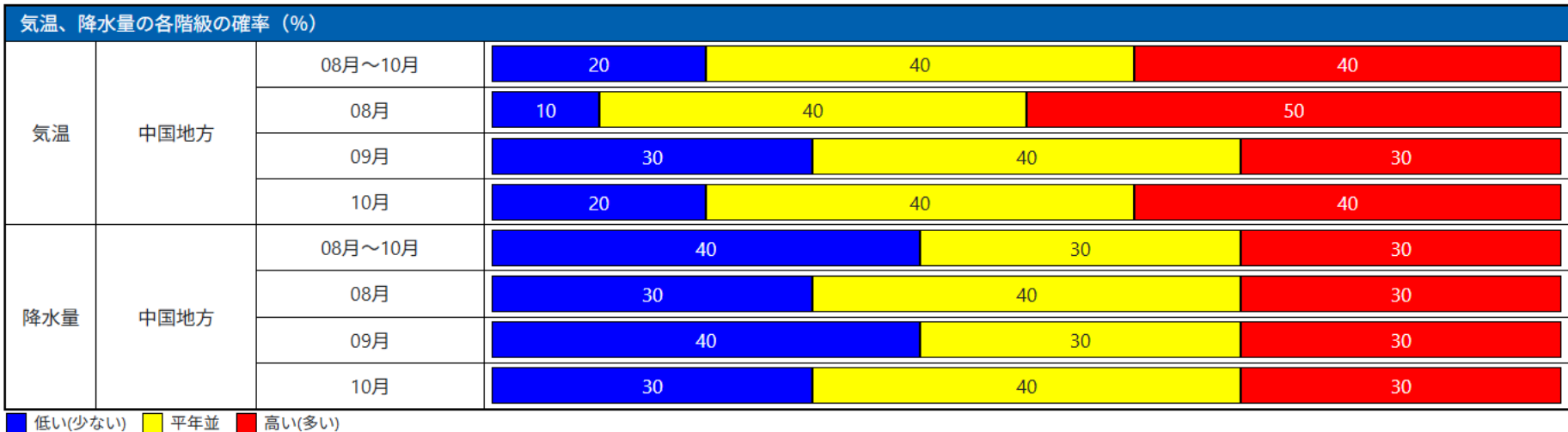
気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）			
気温	中国地方	向こう1か月 07/25～08/24	10 20 70
		1週目 07/25～07/31	10 20 70
		2週目 08/01～08/07	10 10 80
		3～4週目 08/08～08/21	10 40 50
降水量	中国地方	向こう1か月 07/25～08/24	40 30 30
日照時間	中国地方	向こう1か月 07/25～08/24	20 40 40

■ 低い(少ない)
 ■ 平年並
 ■ 高い(多い)

次回発表予定等
次回は2026年07月30日(木)14時30分に発表予定

7月21日発表の3か月予報

中国地方（山口県を除く） 3か月予報（08月～10月）		
2026年07月21日14時00分 広島地方气象台 発表		
08月～10月	気温	平均気温は、平年並または高い確率ともに40％です。
08月	天候	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50％です。
09月	天候	天気は数日の周期で変わるでしょう。
10月	天候	山陰では、天気は数日の周期で変わるでしょう。山陽では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、平年並または高い確率ともに40％です。



次回発表予定等
次回は2026年08月25日(火)14時00分に発表予定 最新の1か月予報もあわせてご利用ください。

熱中症の予防、対策について

<4月1日～7月20日までの熱中症(疑い含む)の搬送状況等>

○熱中症による救急搬送件数は220件(去年同期255件)

○7月のみで157件(全体の7割)、更に7月中旬のみで126件(全体の6割)と急増

○死亡事例が1件発生、重症事例は5件に増加

○「熱中症特別警戒期間」発表中(7/24～7/30)

⇒水分補給・休憩などの徹底、暑熱環境の改善や体調不良時は早めに受診(周囲も声かけ)するなど熱中症予防、対策を徹底

<参考> 搬送状況まとめ ※()は昨年

区分	合計	軽症	中等症	重症	死亡
乳幼児 (0～6歳)	0(1)	0(0)	0(1)	0(0)	0(0)
少年 (7～17歳)	13(36)	5(26)	8(10)	0(0)	0(0)
成人 (18～64歳)	71(64)	39(41)	31(21)	0(2)	1(0)
高齢者 (65歳～)	136(154)	59(70)	72(76)	5(8)	0(0)
合計	220(255)	103(137)	111(108)	5(10)	1(0)

県民の皆様へのお願い

皆様

- ・昼間だけでなく夜間も、エアコン等を使用して室温調節しましょう。
- ・規則的な食事摂取や十分な睡眠と休養など基本的な健康状態の維持に努めましょう。
- ・家族などの定期的な所在確認や体調確認を行い、体調がすぐれない時は、誰かにそばにいてもらいましょう。
- ・熱中症リスクがある時は、「一人で活動しない!」、「一人にさせない!」、「声かけをする!」など一層の注意をしましょう。
- ・意識がおかしいなどの時は躊躇せず救急要請し、判断に迷うときは#7119に相談しましょう。

高齢者

- ・屋内でも、30分から1時間にコップ1杯を目安に、喉が渴いていなくても水分補給しましょう。(制限のない方は1日1.2ℓ)
- ・自覚症状がなくても、屋内でも熱中症になる危険があります。
- ・暑い日や湿度が高い日は、農作業の他、庭仕事、墓掃除等短時間でもリスクが高まりますので避けましょう。

 熱中症は予防ができます。暑い環境での体調不調は熱中症を疑い、早めに適切な対応をお願いします。⁷

主な河川の状況

令和8年7月24日現在

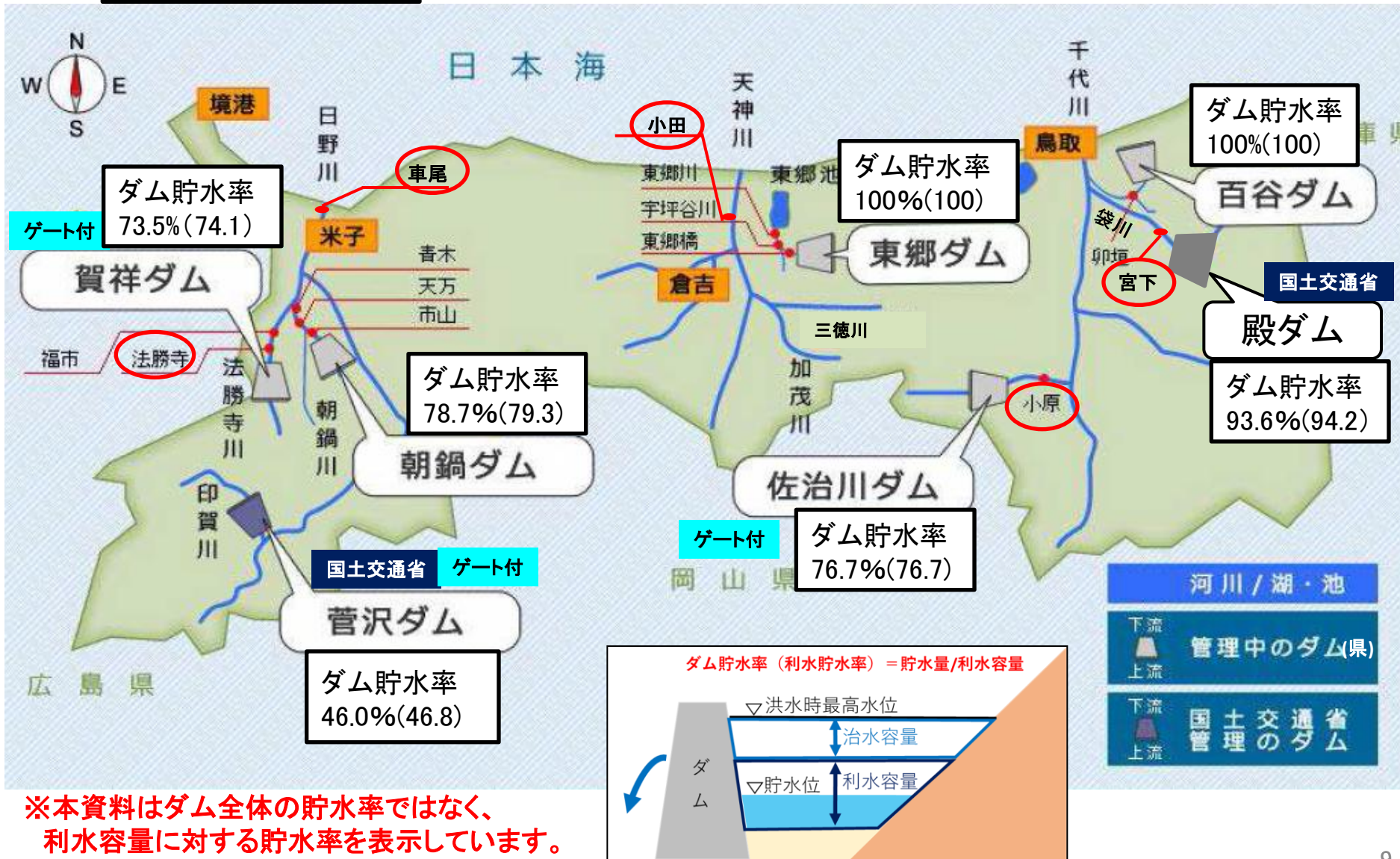
	河川名	基準地点	各河川の流量(m³/s)		取水制限等状況
			正常流量 基準値	現在	
千代川水系	千代川	行徳	14.00	45.09	<u>取水制限なし</u>
	袋川 (殿ダム)	宮の下	1.02	1.60	
	佐治川 (佐治川ダム)	小原	0.16	1.30	
天神川水系	天神川	小田	2.0	2.86	<u>取水制限なし</u>
日野川水系	日野川 (菅沢ダム)	車尾	概ね6.0	1.34	<u>取水制限(10%)</u> 前日の日平均流量が1m³/sを下 回った場合に取水制限を実施 ・7/24 取水制限開始（一律1 0%）
	法勝寺川 (賀祥ダム)	法勝寺 福市	1.418 2.419	1.62 0.29	

※その他の県管理河川では取水制限無し

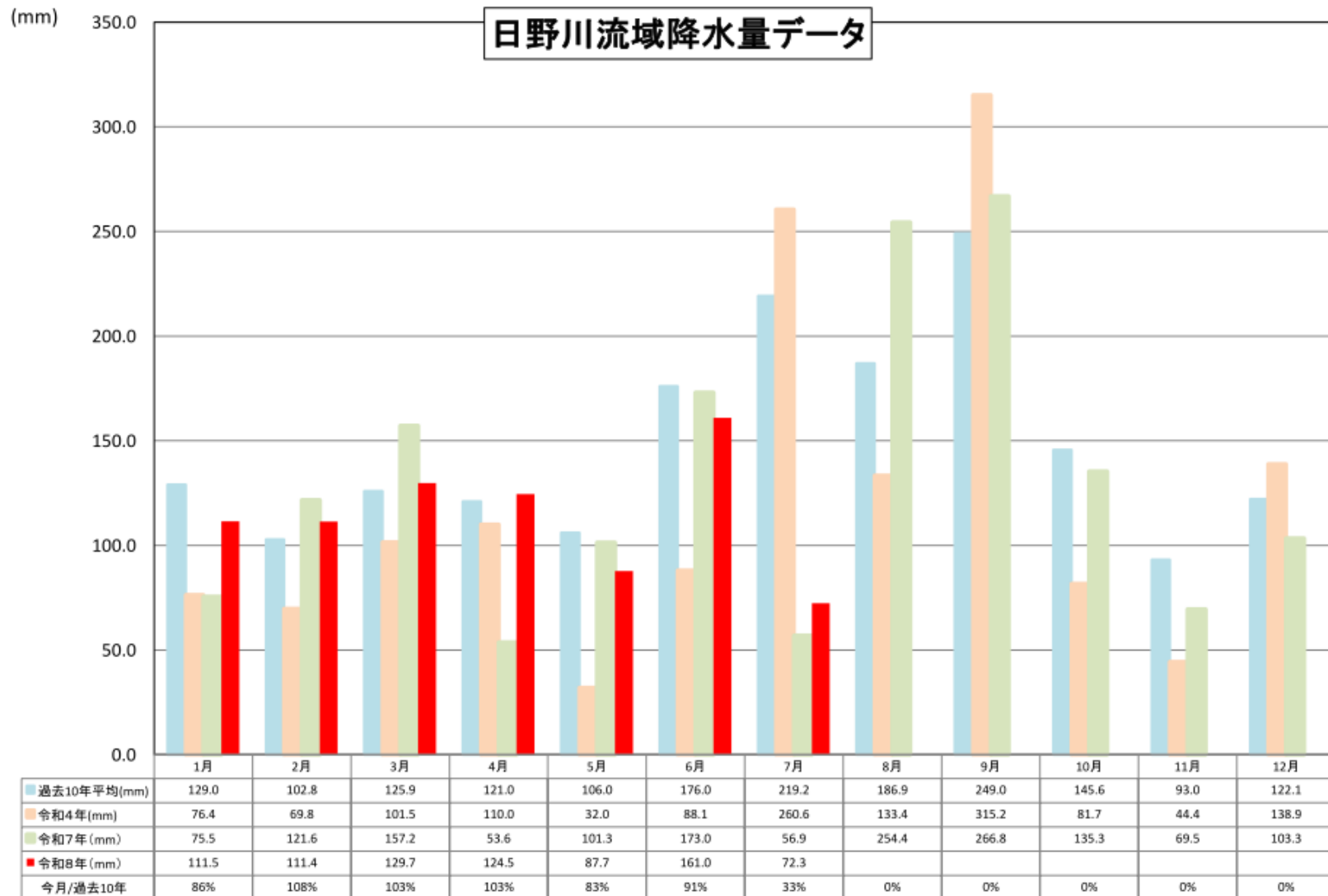
河川の渇水状況(治水ダム)

ダム貯水率
7/24時点(7/23時点)

令和8年7月24日現在



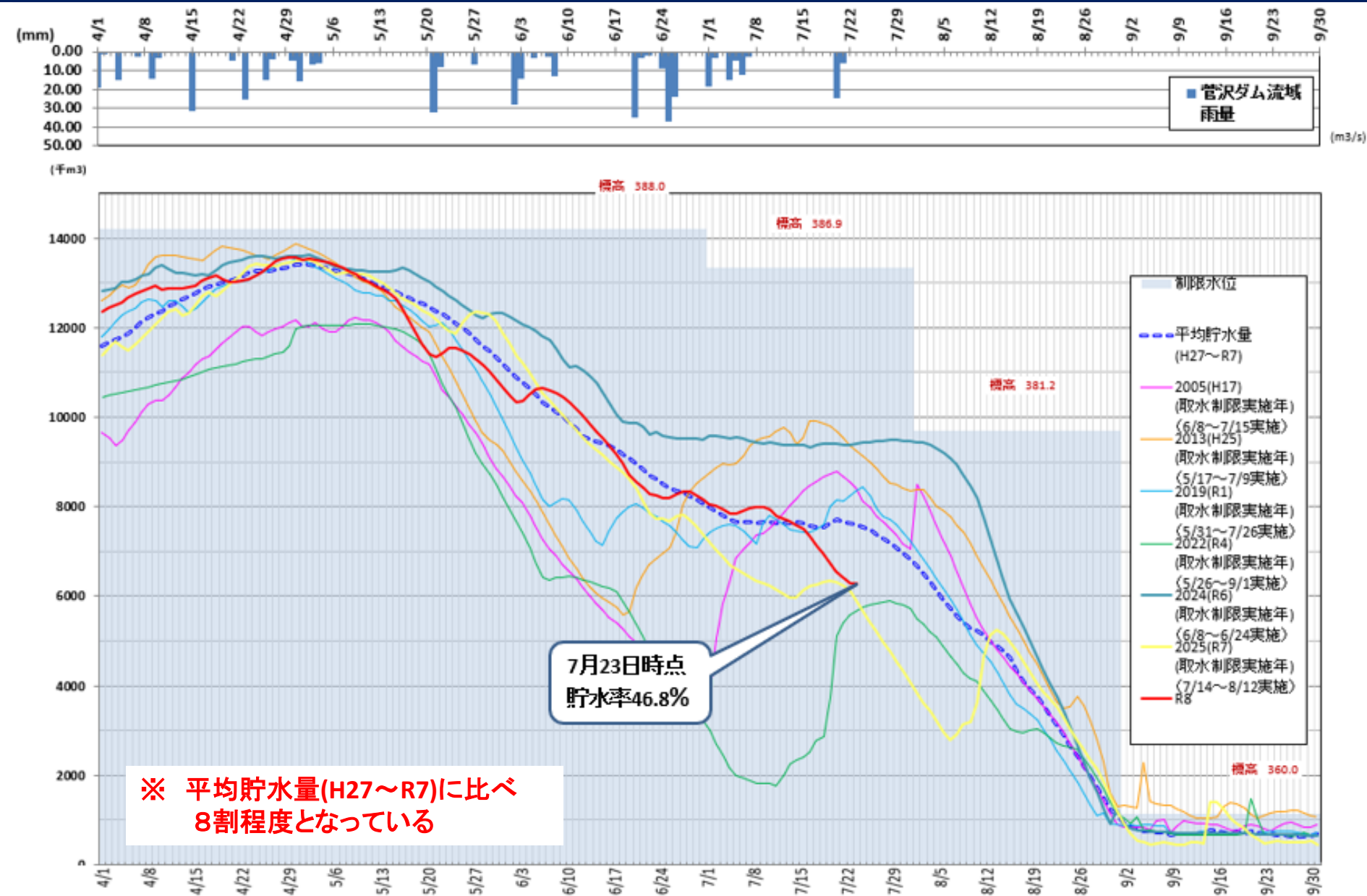
日野川流域月別雨量



※過去10年とはH28年～R7年の平均値

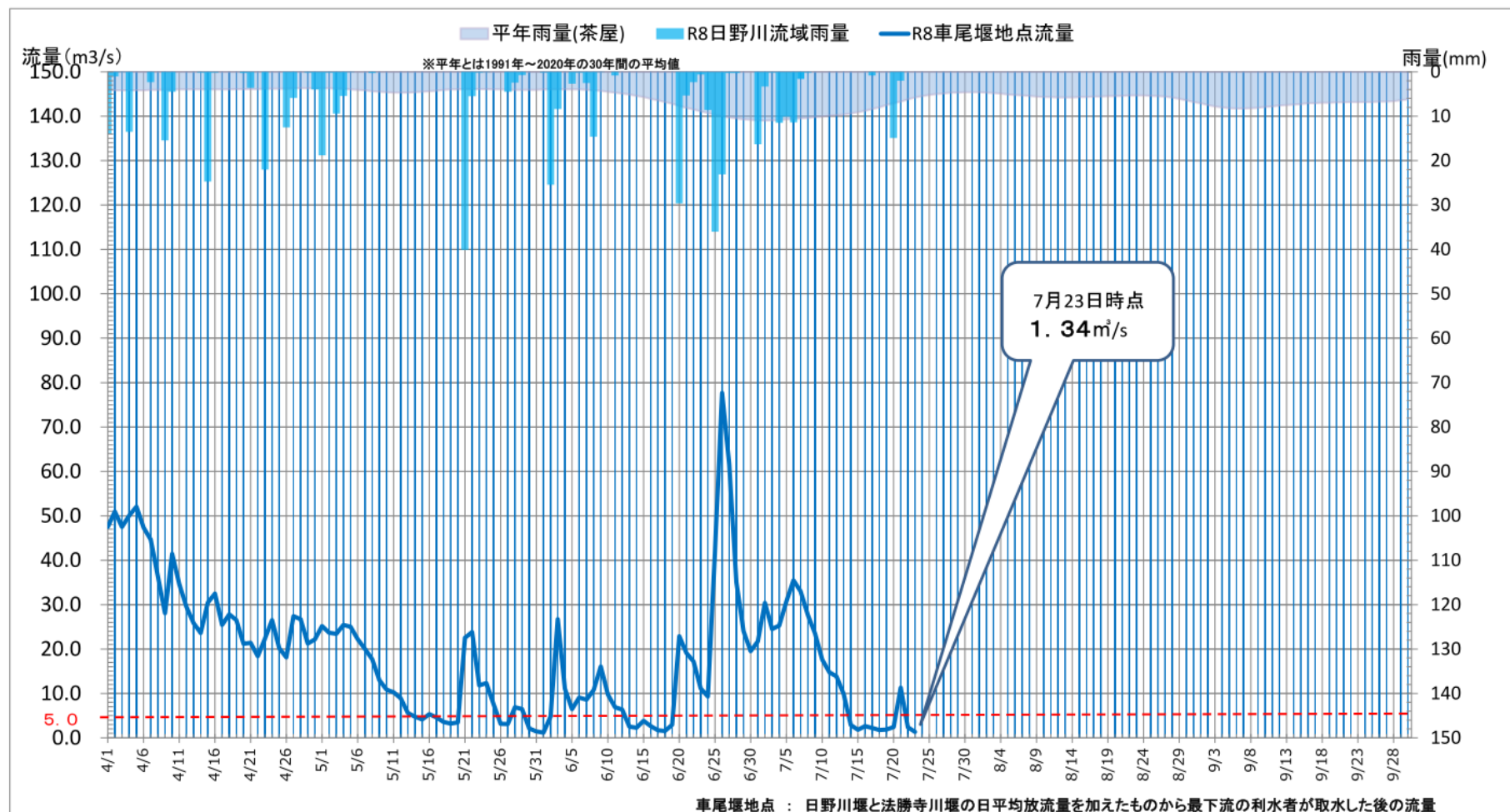
7月は7/23までの降水量

菅沢ダム貯水率の推移



日野川 車尾堰地点流量

令和8年 車尾堰地点流量一日野川流域雨量 4～9月推移



日野川流域水利用協議会の対応状況

■ 日野川流域の状況

7月の梅雨明け以降まとまった雨が降っておらず、7月の日野川流域の降雨量は過去10年平均の約1／3程度であり、日野川の流況が悪化しています。

■ 対応状況

利水者（上水、工水、農水）、鳥取県、各関係市町村と下記の日程で対応について協議を行っています。

- ・4月27日 日野川流域の状況の確認及び情報共有
- ・5月18日 日野川流域の状況及び今後の対応を確認
- ・7月21日 日野川流域の状況及び今後の対応を確認

7月24日より上水、工水、農水一律10%取水制限を開始

現在、企業局の協力を得て菅沢ダムから発電放流を継続して行っている。**本日**より上水、工水、農水を一律**10%**で**取水制限を開始**。今後も流況を注視し、関係機関で連携を図りながら 対応していきます。

天神川流域月別雨量

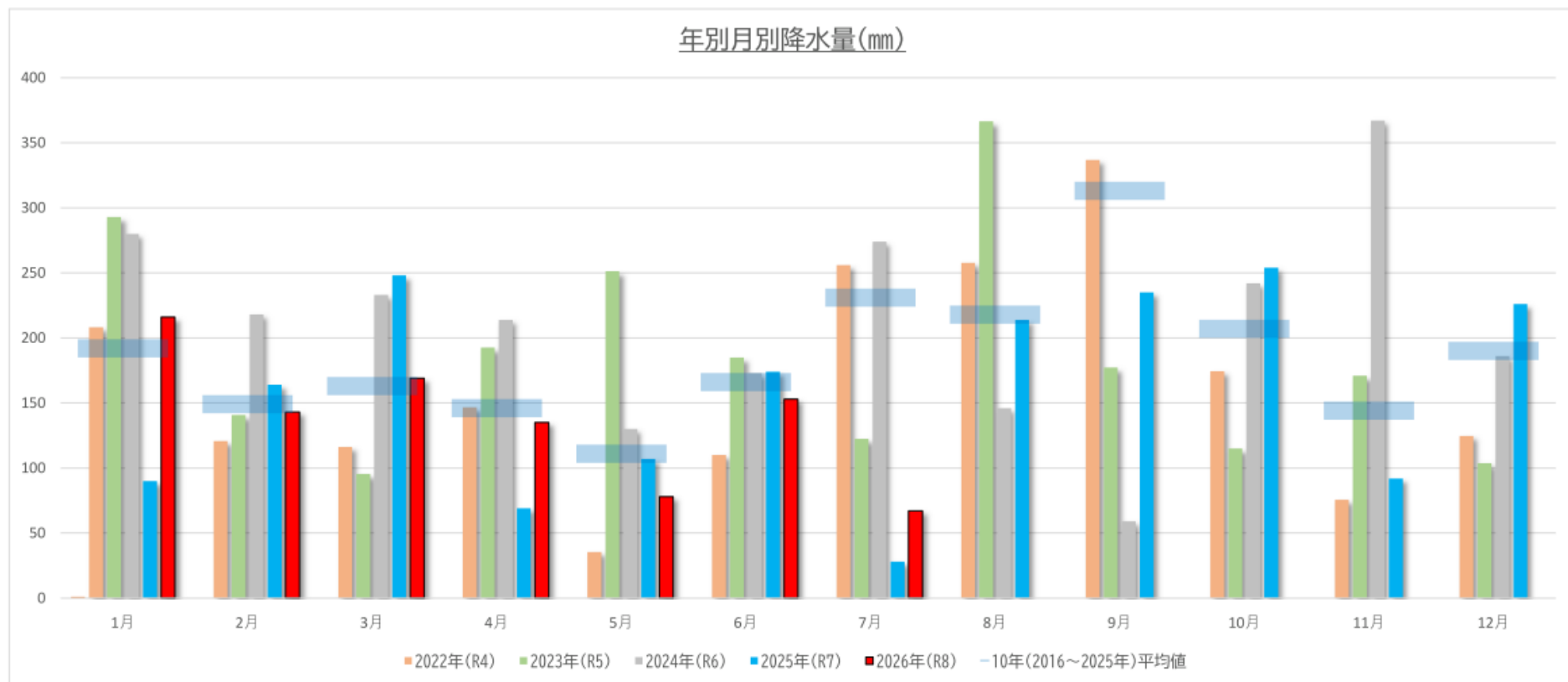
年別月別降水量

(令和8年7月22日 現在)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	小計
10年(2016～2025年)平均値	192	149	163	146	111	166	231	218	313	207	144	190	2,230
2022年(R4)	208	121	116	147	35	110	256	258	337	174	76	125	1,963
2023年(R5)	293	141	96	193	251	185	123	367	177	115	171	104	2,214
2024年(R6)	280	218	233	214	130	173	274	146	59	242	367	186	2,522
2025年(R7)	90	164	248	69	107	174	28	214	235	254	92	226	1,901
2026年(R8)	216	143	169	135	78	153	67						961

※ 本データは、天神川流域平均(ティーセン法により中津、小河内、倉吉、牧、穴鴨、若土、野添、笹ヶ平、堀、高城の各雨量観測所(国土交通省)で観測された雨量より算出した値)である。

注)本資料は速報値であり、今後、記載の数値は変わる場合があります。

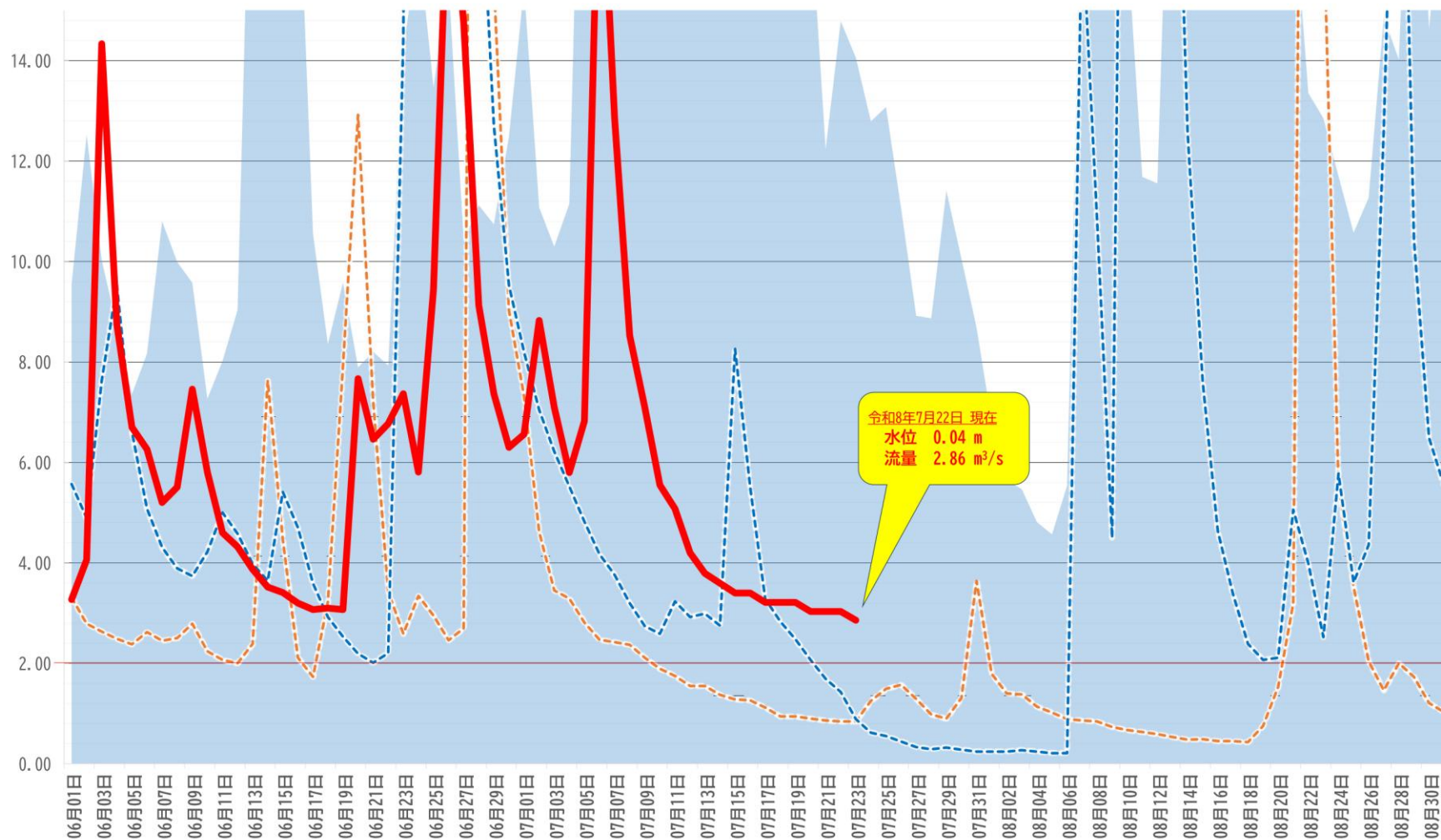


7月22日現在、令和8年7月の降水量が、7月の過去10年(2016～2025年)の平均値の「29.0%」の降水量となっています。

天神川 [小田観測所] 流況

日平均流量 [小田観測所]

(m^3/s)



※ 本資料は、渇水が顕著だった年(平成6(1994)年、令和7(2025)年)、過去10ヶ年平均(2016~2025)、本年における小田観測所の流量をグラフにしたものです。
※ 本資料は、速報値であり、今後、記載の数値は変わる場合がございます。

■ 10年平均 2016~2025

--- 1994 (H6)

--- 2025 (R7)

— 2026 (R8)

< 渇水状況の広報 >

- ◆ 鳥取県 主要河川の渇水状況ページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/309175.htm>

農林水産業への対応

1 現時点の高温・渇水対策への取組

注意喚起

- 水稲作では出穂期（7月下旬～8月末）前後において特に用水が必要なため、番水や節水の呼びかけを行ったほか、高温により発生が増加が懸念されるカメムシ予察情報及び熱中症対策についても合わせて周知。（7/22,24）
- 農業改良普及所の巡回指導や技術指導会時を通じて、熱中症対策、作物の暑熱対策や地元での番水・節水の呼びかけなど技術対策を随時周知。
- 7月下旬からケーブルテレビ局等による番水・節水の呼びかけを実施。
- ※ 岩美町の蒲生川では、河川水位が低下しており中流～下流域の一部集落が給水車による用水の供給開始。（7/24）

対策

- 「みんなで取り組む渇水対策事業」（R8当初）を活用していただき、現場における渇水対策の取組を進めましょう。

補助対象：渇水発生に備えた資機材等調達及び渇水発生時における農業用水確保対策

ケーブルテレビCMイメージ

水稲水管理に関する緊急情報

高温少雨が 続いています

地域で話し合い
番水・節水に
取り組みましょう。

幼穂形成期～
出穂開花期以降は、
水が必要な時期です。

出穂後、1ヶ月程度は
足あと水を目安に
湿潤状態を保ちましょう。

地域の水田に
水が行き渡るよう、
用水のかけ流しはせず、
順番に入水しましょう。

鳥取県

みんなで取り組む渇水対策事業・支援メニュー一例



エンジン付ポンプ購入・リース

給水車リース（運転手含む）

農林水産業への対応

2 各作物別状況

	出穂期（7月下旬～8月末）に向け用水の必要度が増すため、地域で話し合い順番に水を流す「番水」や、最低必要量を使用する「節水栽培」による用水の有効利用を呼びかける。																																																																				
水稲	<table><tr><th rowspan="2">生育ステージ</th><th rowspan="2">活着期</th><th colspan="3">分けつ期</th><th colspan="4">幼穂発育期</th><th colspan="4">登熟期</th></tr><tr><th>前期</th><th>盛期</th><th>後期</th><th>幼穂形成期</th><th>減数分裂期</th><th>穂ばらみ期</th><th>出穂期</th><th>乳熟期</th><th>糊熟期</th><th>黄熟期</th><th>成熟期</th></tr><tr><td>水管理の例</td><td>活着まで 深水</td><td colspan="3">浅水で 生育促進</td><td>中干し</td><td colspan="4">間断灌漑</td><td colspan="3">湛水管理(花水)</td><td>間断灌漑</td><td>溝切り 落水</td></tr><tr><td rowspan="2">主な作業</td><td>移植</td><td>除草</td><td colspan="3">病害虫防除</td><td colspan="4">低温時深水(幼穂形成期10cm、穂ばらみ期20cm)</td><td colspan="4">間断灌漑</td><td>溝切り 落水</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>穂肥</td><td>病害虫防除</td><td>穂肥</td><td>病害虫防除</td><td>病害虫防除</td><td></td><td></td><td></td><td>収穫</td></tr></table>	生育ステージ	活着期	分けつ期			幼穂発育期				登熟期				前期	盛期	後期	幼穂形成期	減数分裂期	穂ばらみ期	出穂期	乳熟期	糊熟期	黄熟期	成熟期	水管理の例	活着まで 深水	浅水で 生育促進			中干し	間断灌漑				湛水管理(花水)			間断灌漑	溝切り 落水	主な作業	移植	除草	病害虫防除			低温時深水(幼穂形成期10cm、穂ばらみ期20cm)				間断灌漑				溝切り 落水						穂肥	病害虫防除	穂肥	病害虫防除	病害虫防除				収穫
生育ステージ	活着期			分けつ期			幼穂発育期				登熟期																																																										
		前期	盛期	後期	幼穂形成期	減数分裂期	穂ばらみ期	出穂期	乳熟期	糊熟期	黄熟期	成熟期																																																									
水管理の例	活着まで 深水	浅水で 生育促進			中干し	間断灌漑				湛水管理(花水)			間断灌漑	溝切り 落水																																																							
主な作業	移植	除草	病害虫防除			低温時深水(幼穂形成期10cm、穂ばらみ期20cm)				間断灌漑				溝切り 落水																																																							
						穂肥	病害虫防除	穂肥	病害虫防除	病害虫防除				収穫																																																							
梨	「二十世紀」の果実肥大は7月13日時点で平年比106%で良好である。赤土園では7日、黒土園では10日の連続晴天を目安にかん水するよう呼びかける。特に、根域が浅い幼木は早めのかん水と山草等のマルチによる土壌乾燥防止を呼びかける。																																																																				
すいか	8月下旬頃から出荷予定の抑制栽培すいかは高温対策とし定植時の遮光資材の設置を呼び掛け、生育も概ね順調。今後も、適切なかん水を呼びかける。																																																																				
白ねぎ	夏ねぎの約5割程度が出荷終了している。秋冬ねぎについては、高温・渇水による生育遅れ等は見られていないものの、病害虫防除と苗の定植直後はスムーズに根が活着するよう適切なかん水を呼びかける。																																																																				
畜産	給水施設の点検と、畜舎の換気や屋根散水遮断熱シートの設置等を適宜行い、畜舎温度を下げるとともに、細霧の散布や牛では体に水をかける、給水用の水槽に氷を入れるなど、家畜の体温を下げるような対策を呼びかける。																																																																				

18

農林水産業への対応

3 土地改良区等・農業用ダム関係

○市町村や土地改良区等への番水・節水の呼びかけを行っている。

①番水：地域毎に順番に用水利用を実施。ゲートなどが設置されていない地域では土のうを設置

②節水：ゲートの開度調整による少量取水の徹底、掛け流しの禁止

○県内の農業用ダム貯水率はほぼ平年並みであり、現時点で営農に影響はない。

【ダム貯水率】西高尾87%（平年91%）、小田股67%（67%）、船上山88%（92%）、下蚊屋75%(79%)

4 林業関係

○苗木の管理について、生産者団体を通じて生産者に適切なかん水等を指導し、現時点で概ね生育は順調。

5 水産関係

○今年のアユは遡上済であるものの、日野川水系漁協などの河川漁協に対し、水位低下等によるアユへの影響等の監視を呼びかける。

○養殖業においては巡回指導の中で、高水温への対応など適切な飼育管理を呼びかけ。

6 今後の対応

○梨等の査定会ほか農業改良普及所の巡回指導や技術指導会等農業者が参集する機会において、熱中症対策や、かん水及び番水や節水等の呼びかけを行う。

○引き続き現場状況を注視するとともに、渇水対策の取組に必要な地元負担軽減支援について周知。

日野川工業用水道の取水制限による影響

7月24日 10時時点

◆日野川工業用水道（7/24 10:00～ 取水制限10%）

＜取水制限によるユーザーへの影響＞

- ユーザーに対して節水の呼びかけを実施し、自主的な節水に取り組んでいる。
- 10%取水制限においては、減量等の実質的な制限を行うことなく配水を行っている。

◆菅沢ダム貯水の活用

- 日野川第一発電所を経由した菅沢ダム貯水の放流を実施している。(3.9 m³/s)
※7/24(金) 日野川第一発電所 14時間運転、黒坂発電所(中国電力) 10時間運転)
- 今後も河川管理者(日野川河川事務所)の依頼に応じた対応を行う。



◆発電ダムの貯水率 ※発電状況に応じ変動

- 茗荷谷ダム(若桜町) 43%～60%
- 中津ダム(三朝町) 23%～26%

林野火災への対応

■ 消防水利について

- 森林、林野付近の消防水利について、渇水等の状況も含め、日頃から確認するよう各消防局、各市町村(消防団)に呼びかけ
- 影響等ある場合は、別の消防水利確保を検討

■ 林野火災の防止

- 令和8年中の林野火災発生件数は1件(5月)
引き続き、ホームページを通じて注意喚起
- 各消防局が運用する林野火災注意報等の的確な発令・周知
(あんしんトリピーメールの発信、鳥取県防災情報ポータルへの掲載)

【林野火災注意報等の発令基準】 基準に合致した場合に発令するもの

林野火災注意報	以下の①又は②のいずれか ① 前3日間の合計降水量が1mm以下 + 前30日間の合計降水量が30mm以下 ② 前3日間の合計降水量が1mm以下 + 乾燥注意報
林野火災警報	「林野火災注意報」の発令条件 + 強風注意報 (中部地区では林野火災を含め火災警報として運用)